

# 2016年度(第8期)活動報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン

今年度より活動報告及び活動計画に関しては、概要の掲載に改め、詳細に関しては、別紙による説明といたします。

## I. 事業の成果および活動概要

2016年度の基本方針は、活動の方向性を復興支援から「疲弊する地域の活性化」に軸足を移して展開してきた。

そこで、今年度の活動ビジョンである【地域の新しい価値を創り、向上させる】をテーマに次の方針のもとで事業に取り組んできた。

1. 復興地域の人材育成事業に取り組んだ経験をもとに、地域に新しい人的価値を創りだす。
2. 住民の日々の暮らしを見つめて、暮らしのチカラが向上する価値を見つけ出し、新しい資源的価値を創りだす。
3. 日々の暮らしの中にある人的資源、物的資源をつなぎ合わせて地域内循環経済を生み出し、持続可能な地域経営に取り組む。

### 1) 特定非営利活動にかかる事業

#### (1) 人づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
①地域づくりスタッフ育成プロジェクト	<p>登米市内21コミュニティに勤務する「集落支援員」21名と公民館等職員7名、合計28名を受講者に、地域経営の現場における課題抽出や解決策を導き出す講座をワークショップやフィールドワーク、視察を交えながら、より実戦を可能にすることを目的に展開し、最終的に具体的な解決策を作り出すことができた。</p> <p>2016年7月28日から2017年1月26日まで 人材育成講座、延べ12回開催</p> <p><b>【登米市】協働のまちづくりリーダー養成事業</b></p> <p>以下の日程で、地域リーダーのスキル強化のために講座の企画運営</p> <ul style="list-style-type: none"><li>➢ 7月28日 第1回講座（開講式）、 第2回講座</li><li>➢ 8月25日 第3回講座、第4回講座</li><li>➢ 9月29日 第5回講座、（先進地視察：柴田町、加美町）</li><li>➢ 11月24日 第6回講座・第7回講座</li><li>➢ 12月22日 第8回講座・第9回講座（市内フィールドワーク）</li><li>➢ 1月19日 第10回・11回講座</li><li>➢ 1月26日 第12回講座・（報告会）</li></ul>	登米市民 82, 300人	3,290
②若手後継者育成プロジェクト	<p>南三陸町の「夢未来南三陸・青年部」の人材育成プログラム講師やアドバイザー、ファシリテーターとして、宝BOOK作成も実践しながら、現地NPO法人と連携して取り組んだ。</p> <p><b>定例会、編集会議、総会等延べ9回</b></p> <p>登米市内では、「石森いろいろ市場」や「石森いろいろミニライブ」、など</p>	青年部延べ 63名 高校生延べ 123名 計186名	563

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
	<p>の活動に従事する高校生ボランティア育成を進めてきた。テーマ:登米市、地域の現状。国際社会の環境問題。企画の作り方、動かし方。18歳からの選挙と政治。プレイランド計画の企画、運営。ボランティア活動の現実など</p> <p><b>年間 15回ワークショップ。</b> ほかにライブ終了後に振り返り(高校生が自ら運営、まとめ)</p>		
③地域防災プロジェクト	<p>防災と地域の暮らしに役立つマップ製作を通じて、起こりうる災害への備えとともに、地域の魅力発見を支援した。</p> <p>特に地域自主防災組織の運営アドバイスや、防災倉庫の設置に関する補助金の申請、倉庫設置、報告などの一連の事業を支援した。</p> <p><b>自主防災組織の会議、訓練など延べ 4回</b></p>	登米市内 47人	10
④環境教育プロジェクト	<p>現代における過剰な消費生活が影響している地球の自然環境問題について、小学生の時期に実地で学び、体験することで人間と環境のかかわりや、豊かな自然の価値についての認識を高め、地球にやさしい日常生活のありかたを学ぶために実践した。</p> <p><b>水辺の生き物等調査から水質改善の実践 6回</b></p>	登米市内の 小学校及び 周辺地域 延べ135人	225
⑤星空教育プロジェクト	<p>星空を観察し、宇宙現象や彗星、惑星、衛星などの基礎知識を知り、地元で見える満天の星空の素晴らしさを体感すると共に、豊かな自然に恵まれていることに気づくきっかけとして、開催した。</p> <p>親子プログラムとすることで、家庭内で地域の自然環境について意識を高めるきっかけとなり、公民館などとの連携開催も増加している次第に参加者が増えている。</p> <p><b>本会自主開催 4回 連携開催 6回</b></p>	登米市内 408名	545
⑥石森コミュニティスクール	<p>石森小学校のコミュニティスクール認定に伴い、学校と地域が協働してプログラムを企画。学校運営協議会の委員として参画。助言、提言のほか、(仮称)石森っこサポートーズの事務局としても全体の管理運営を担当してきた。</p> <p><b>事業実施及び学校行事への参加 9回</b></p>	登米市中田町石森小学校区 60名	10

## (2) 場づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
①コミュニティカフェたばごやプロジェクト	<p>地域コミュニティの活性化、交流人口の増加を目的として、石ノ森章太郎ふるさと記念館前の飲食店舗を利用したコミュニティカフェ「Cafeたばごや」を運営。</p> <p>地元住民で、専門的な資格を有する人や、手に技を持っている方などが講師となって、各種ワークショップを開催、同様に地元の手作り作家などのギャラリー展示会の開催、南三陸の物産や小物販売を支援して、小さな経済と人的交流を生み出している。</p> <p>さらに2階はギャラリーとして、各種団体の活動紹介や地元デザイナーによる作品の製作、展示販売を実施した。</p> <p><b>ワークショップ 40回開催 ギャラリー展示販売 延べ209日間</b></p>	全国、登米市内 ワークショップ 401名 ギャラリー 2, 619名 計3, 020名	2,583

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
①-2 手創り市の開催による地域価値向上	毎年、休眠状態となっていた旧幼稚園園舎や中庭などを活用して、地域住民の交流の場として「石森いろいろ市場」を毎月第1日曜日に開催、プログラムの企画、運営を実施し、毎月2回「いろいろ市場通信」を発刊して魅力ある活動を拡げる。 <b>毎月1回第1日曜日開催 延べ12回</b>	登米市内、宮城県内、全国 延べ4,920名	873
①-3 ミニライブの実施による交流	手創り市の関連イベントとして昨年度末より開催。 開催の基本は、高校生の自主的活動としており、地域を盛り上げたいと思う思いから周辺の高校にも声が広がって、参加した高校は延べ5校、参加高校生バンド数は延べ24バンドとなった。 <b>ミニライブ開催回数 12回</b> <b>内訳:高校生ライブ6回。高校生と社会人ライブ 3回</b> <b>演歌歌手の歌謡と舞踊1回。フラダンス愛好者の発表会1回</b>	登米市内、宮城県内、全国 延べ645名	100
②ナイン・タウン交流農園プロジェクト	農村文化を継承、地域活性化につなげるために、遊休耕作地を耕し年間を通じて、野菜や小麦、大豆等の植え付けを実施。 地域住民にも開放された交流農場とし、収穫物による交流プログラムを企画、実施。 また、被災地域などから転入された方や地域住民との交流のきっかけづくりとして《おしゃべり畑》と名付けて交流を深める。 今年度もミヤギシロメ大豆を主体とし、収穫後は味噌作り等のプログラムを実施した。 <b>耕作作業36日 延べ77人。 実施プログラム15回</b>	登米市中田町 延べ179人	2,745
③石森地域活性化事業実行委員会プロジェクト	登米市中田町石森地区の活性化をめざし、2014年に開設。 地域住民と共にまちづくりプログラムの企画や運用に取り組む。 石森地域の各種課題解決のために、多様な事業に取り組み、解決を行っている。 小学校のコミュニティスクール活動と連携し事業協力している。 <b>年間22回実施及び参加</b>	登米市中田町石森地区 335人	10

### (3) 地域経済づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
①SATO YAMAマッチング事業	・地域の多年齢層への聞き取り調査を実施、地域に潜在する地域資源と課題(ニーズ)の掘り起こしを行う。(探している&余っている/貸したい&借りたい等) ・上記のニーズと必要情報、まちづくり実践等の事例集「里山カタログ」として作成(1500部×2回=3,000部発行。配布、掲示、インターネット上で掲載。掲載記事に対して、必要とする人へのマッチングを行い、小さな課題解決へつなげた。 <b>プログラム:年間55回実施 カタログ2種類発行。</b> <b>マッチング対象事例:地域活動52件 経営改善相談18件</b> <b>起業支援5件 地域内循環経済17件 計92件</b>	登米市を中心とした、周辺市町村 マッチング対象事業 延べ92件	289

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
②手創り市で地域内循環経済づくりプログラム	「石森いろいろ市場」やワークショップを通じて、地域住民の収入拡大を図り、地域内循環経済を生み出すことにより、地域価値の向上を図る。  石森いろいろ市場:年間12回開催、直接経済計算@18千円×28店×12回=約600万円	出店者延べ 319店舗 来場者 延べ4,920人	135
③夢未来南三陸事業運営支援プロジェクト	NPO法人夢未来南三陸への活動強化支援活動、経営アドバイス、販路拡大、総務・会計、会議運営支援。  みなさん館、石泉ふれあい味噌工房PRの支援と、地域経済のさらなる好循環を創出。  年間31回(日)活動支援、コンサルティング。	南三陸町 出品者と地域住民 4,579人	760
④商品開発・企画プランニング・販路開拓プロジェクト	南三陸町及び登米市地域にある素材(地場産品)を活かした商品化・ブランド化をすすめた。  みなさん館やCaféたばごや、その他催事での出張販売等、多様な窓口で取り扱うことで販路開拓に貢献。地域のファンづくりにはじまり、交流人口の拡大と活動への支援により財務の充実と、組織強化に効果が表れた。	南三陸町・登米市 30種類開発	10
⑤遊休資源活用、地域経済創発プロジェクト	耕作放棄地や空き家、空き施設などを活用して、小さいけれども新たな価値を生み出し、地域内循環経済を生み出している。  将来的には移住や、地域経営の資金化ができるようなモデル事業となるように時間をかけて育て、成果を生み出す内容に育てたい。  見える化するための宝 BOOK 発行 2,500部発行	南三陸町 関連団体・個人 3,000人	870
⑥スタディツアーや観光ツーリズムプロジェクト	各種ツアーを企画していたが、積極的な働きかけや、受け入れ態勢を構築するところまでは達成できず、1件のみの受け入れとなつた。  1回 5名 南三陸町復興ツアー	南三陸町・登米市 5人	5

#### (4) 受託事業

【登米市】協働のまちづくりリーダー養成事業 1-1) - (1) -①で記載済み

#### (5) 各事業で連携した個人、団体等

(順不同、敬称略)

- |                                |      |
|--------------------------------|------|
| 1 ワークショップ、勉強会等でご指導いただいた講師延べ45名 | 事業連携 |
| 2 新商品開発に際して協力いただいた関係者延べ25名     | 事業創出 |
| 3 プログラム実施にご協力いただいたボランティア延べ200名 | 事業支援 |
| 4 石森いろいろミニライブに参加いただいた高校生延べ70名  | 事業支援 |
| 5 石森地域活性化事業実行委員会               | 事業連携 |
| 6 石森コミュニティ運営協議会                | 事業後援 |

7	米川地域振興会	事業連携
8	石森山安永寺	事業支援、施設提供
9	石森小学校	事業共催、連携、協力
10	中津山小学校	事業連携
11	石森商店会	事業支援
12	仲町行政区	事業連携
13	石ノ森章太郎ふるさと記念館	情報共有、事業協力
14	宮城県佐沼高等学校	事業連携
15	登米市	事業委託、事業連携
16	登米市教育委員会	事業協力
17	とよま公民館	事業共同開催
18	北方公民館	事業共同開催
19	登米市環境市民会議	事業協力
20	登米市社会福祉協議会	事業協力
21	佐沼天文同好会	事業協力
22	南三陸町・歌津支所	事業協力
23	NPO法人夢未来南三陸	事業連携
24	NPO法人夢未来南三陸・青年部	事業連携
25	NPO法人夢未来南三陸・まちづくり事業部	事業連携
26	登米市民活動フォーラム	事業支援
27	復興庁	助成金支援
28	独立行政法人国立青少年教育振興機構	助成金支援
29	公益財団法人カマイ社会教育振興財団	助成金支援
30	公益財団法人浦上食品・食文化振興財団	助成金支援
31	株式会社ホテル観洋	情報共有、事業連携
32	株式会社ビクセン	事業協力
33	味の素株式会社	事業共催、活動支援、情報共有
34	Studio, S	事業連携、コンサルティング、運営支援
35	株式会社日立コンシューママーケティング	事業連携
36	日本NPOセンター	助成金支援、活動支援

## (6) マスコミ掲載記事等一覧

- ① 新聞
  - ・河北新報 「音楽が交流やにぎわい創出～フリマに高校生バンド～」(2016/4/7)
  - ・南三陸復興通信「一燈」「宝ブック発行」(2016/11/15)
  - ・河北新報広域交流版「宝ブック発行」～地域の特産品PR・南三陸・若者たち～(2017/2/2)
- ② テレビ・ラジオ なし
- ③ 冊子等
  - ・a·ru·ku 「Cafe たばごや」紹介記事隨時掲載
  - ・とめ市民活動プラザニュース ぶらっと・とめ(随时イベント記事掲載)

## 2) その他の事業

特になし

## II. 事項別状況

### 1. 登記内容の変更等

特になし

### 2. 定款等の変更

(1) 定款本文及び附則の変更なし。

(2) 規程・規約等

・旅費規程(変更なし)

他に設置、変更ともになし。

### 3. 会員の状況

		正会員数	賛助会員数	計
2016年4月1日現在		13名	32名	45名
年度内の異動	加入者数	0名	6名	6名
	退会者数	0名	3名	3名
2017年3月31日現在		13名	35名	48名

### 4. 役員の状況

理 事 長 小野寺 敏

副理事長 鈴 木 武 彦

専務理事 伊 藤 寿 郎

監 事 石 川 恵一郎

### 5. 会議の開催状況

#### (1) 総会

① 2016 年度(第8期)通常総会

開催日時 2016年5月26日(木) 午後6時から午後8時まで

開催場所 本会事務所会議室

② 2016 年度 臨時総会

開催日時 2016年8月12日 午後 1 時

開催場所 本会事務所会議室

#### (2) 理事会

① 第1回理事会

日 時 2016年4月26日(火) 午後6時から午後 8 時まで

場 所 本会会議室 出席理事 3名

② 第2回理事会

日 時 2016年5月23日(月) 午後3時から午後5時30分まで

場 所 本会会議室 出席理事 3名

③ 第3回理事会

日 時 2016年10月1日(土) 午後1時から午後3時まで

場 所 本会議室 出席理事 3名

④ 第4回理事会

日 時 2016年11月18日(金) 午後1時30分から午後3時まで

場 所 本会議室 出席理事 3名

⑤ 第5回理事会

日 時 2016年1月12日(木) 午後2時から午後5時まで

場 所 本会議室 出席理事 3名

(3) 監査会

日 時 2016年5月26日(火) 午前10時から午前11時まで

場 所 本会議室

立会い者 理事長 小野寺 敏、副理事長 鈴木武彦、専務理事 伊藤寿郎

監査者 監事 石川恵一郎

監査内容 2015年(第7期)度事業活動並びに活動計算書及び関連証憑に関する事項